

平成 20 年 12 月 26 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、観光関連が堅調なもの、生産活動が一段と弱含み、個人消費が低調となるなど、全体では停滞感を更に強めている。

生産活動は、電子部品関連が減少しており、食料品関連も伸び悩んでいる。個人消費関連は、大型小売店（百貨店・スーパー）販売額や新車（乗用車・軽自動車）販売台数が前年を下回った。投資関連では、公共工事が件数、請負金額ともに前年を下回った。一方、民間建築工事や住宅着工戸数は前年を上回ったが、これは建築基準法改正の影響により減少した反動増によるもので、全体では低調。その間、観光入り込み客数は全地区で前年を上回った。

【生産活動】 ... 一段と弱含み

電子部品関連は、IC 生産やカラーLCD（液晶ディスプレイ）が需要の低迷により生産調整を行うなど、このところ減少している。

11月の**生コン**生産は、公共工事向け、民間工事向けともに前年を下回った。

紙パルプ生産は、需要の低迷により弱含んでいる。

木材関係は、住宅建設向け需要が弱いことから、製材品が生産、出荷ともに低調に推移している。

11月の**大島紬**生産は、前年比27.1%減となり、減反基調に変化はない。

焼酎の生産、出荷は共に高水準で推移しているものの、一頃の勢いはみられない。

10月の**かつお節**生産は、原料かつおの水揚げ量が減少したことにより、3か月連続で前年を下回った。

【畜産関連】 ... 伸び悩み

肉用牛（和牛）の枝肉相場は需要の低迷から前年を下回り、子牛価格も前年を下回っている。豚肉相場は年末の鍋物需要等により上昇するも、前年を下回る水準で推移している。ブロイラー相場は、むね肉が高水準ながらも伸び悩み、もも肉が供給増により前年を下回っている。鶏卵相場は前年を上回る水準ながらも、ほぼ横ばいで推移している。

【消費関連】 ... 低調

10月の百貨店売上げは、食料品が催事の売上げにより前年を上回ったものの、衣料品が引続き前年を下回ったため、前年比 8.6% 減となった。また、10月のスーパー売上げは、前年の大型商業施設開業の反動もあり、2.2% 減となった。なお、大型小売店（百貨店・スーパー）販売は、3か月連続で前年割れとなった。

11月の乗用車販売台数は、27.7% 減と4か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は 34.0% 減、小型車は 23.7% 減といずれも前年を大きく下回った。一方、軽自動車販売台数は前年と同水準となった。

【観光関連】 ... 堅調

11月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比 5.8% 増となった。暦の上では3連休が続き、篤姫効果など観光面が引き続き堅調だったことに加え、大会関係も開催されたことが要因。地区別にも、全地区で前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は、9か月ぶりに小幅ながら前年を下回った。この間の主要観光施設入場者数は、堅調に推移した。

【投資関連】 ... 低調

11月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

10月の民間建築工事は、棟数、床面積、工事費予定額の全てにおいて前年を上回ったものの、前年の建築基準法改正の影響で低減を余儀なくされた反動増に過ぎず、低調。

10月の**新設住宅着工戸数**は、前年比3.0%増となった。利用関係別では、持家、分譲が前年を下回ったものの、貸家が前年を上回った。

11月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年を下回った。

【貿易関連】... 一進一退

10月の**輸出額**は、半導体等電子部品や液晶標示板等の科学光学機器が前年を下回ったものの、ゴム製品が前年を上回ったこと等により、全体では5.0%増と2か月ぶりに前年を上回った。**輸入**は原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を上回ったことから、全体では前年比6.0%増となった。

【雇用情勢】... 悪化

10月の有効求人倍率は、前月を0.02ポイント下回る0.47倍となり、雇用情勢は悪化している。

【金融情勢】... 伸び悩み

資金需要は、企業の設備資金が伸び悩んでいる。

【企業倒産】... 悪化

11月の**企業倒産**は、件数が11件と前年同月(9件)を上回った。一方、負債額は16億5,200万円(前年同月97億300万円)と前年を下回ったものの、前年の大型倒産発生の反動減にすぎず、厳しい情勢に変化はない。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿兒島地域経済研究所 (099-225-7491)